

2009年9月18日

【緊急！個人投資家アンケート調査】 ～新内閣発足がドル円相場に与える影響について～

このたび、(株)外為どっとコム総合研究所では、(株)外為どっとコムとの共催で「新内閣発足がドル円相場に与える影響について」の個人投資家向け緊急アンケートを実施致しました。緊急調査の概要及び結果は以下の通りです。

【調査実施期間】

2009年9月17日(木) 10:00～2009年9月18日(金) 14:00

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『ネクスト総合口座』、『FXトレード口座』のいずれか一方、または両方に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの取引画面内にアンケートを公開。有効回答数は、2678件。

【回答結果とその理由】

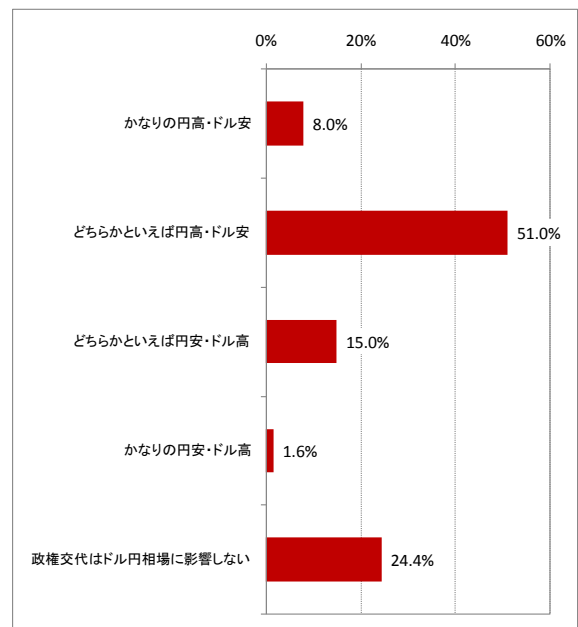
「先の総選挙で民主党が勝利し政権交代となりましたが、新内閣発足がドル円相場に及ぼす影響は？」と尋ねたところ、最も多かった回答は「どちらかといえば円高・ドル安」で、全体の51.0%と過半数を占めた。「かなりの円高・ドル安」と答えた8.0%と合わせ、6割近い回答者が、新内閣発足を円高要因として見ていることが判明した。

一方、「どちらかといえば円安・ドル高(15.0%)」、「かなりの円安・ドル高(1.6%)」の回答割合は合わせて16.6%に留まり、鳩山内閣発足を円安要因とみている向きは相対的に少ない。

円高と回答した理由については、「藤井財務大臣発言」や「新政権は円高容認」という記述が目立った。一方、少数派だが円安と回答した理由では、「藤井発言でもあまり円高にならなかった」、「新政権の政策への不安」などを指摘する向きが多かった。

「政権交代はドル円相場に影響しない(24.4%)」と答えた人の理由では、「既に織込み済み」や、「海外経済の方が重要」などが多かった。

新内閣の発足が
ドル円相場に与える影響は？



(出所)2009/9/17-18に実施したアンケート調査に基づき
外為どっとコム総合研究所作成。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com